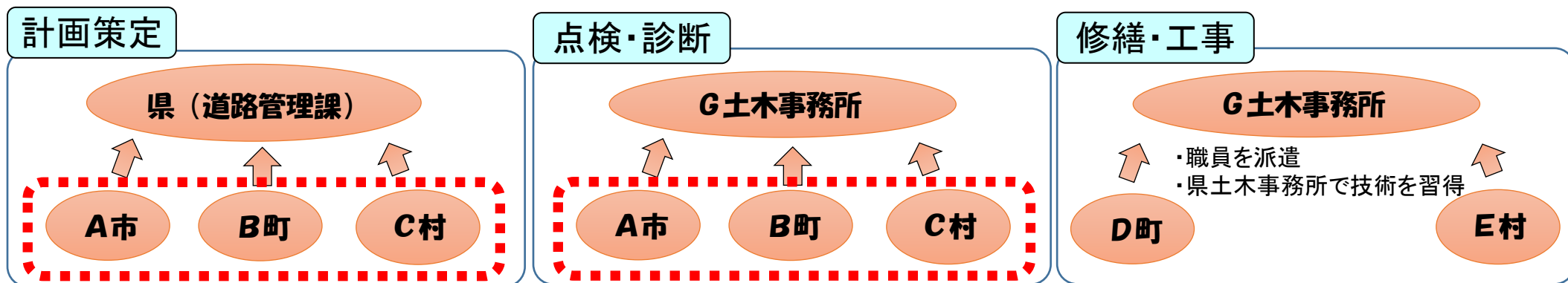


- 奈良県では、市町村の土木技術職員が減少し、土木技術職員がいない町村も存在することを背景に、平成22年度から、県からの支援を希望する市町村について、道路施設に関する長寿命化修繕計画の策定業務、点検・修繕事業（設計・工事）を県が市町村から受託し（私法上の委託契約）、実施。

- 県道路管理課において、県と同じ考え方に基づき、長寿命化修繕計画を策定。
- 県土木事務所において、市町村から受託した点検・診断について、県管理施設とあわせて一括発注するとともに、市町村の補修設計・工事を受託。また、市町村職員の技術力向上、補修設計・工事のノウハウ取得を図るため、県土木事務所に派遣された市町村職員が、県職員の技術支援を受けながら、補修設計・工事の積算や現場管理等を実施。
- 市町村との情報共有や意見交換の場として、「奈良県道路インフラ維持管理連絡協議会^{※1}」（国、県、市町村、西日本高速道路株式会社、奈良県道路公社^{※2}）を設立（平成26年4月）。
※1…R元年度より「奈良県道路メンテナンス会議」に改称
※2…H31.3末に解散
- 維持管理に関する必要な知識及び点検・診断に関する必要な知識の習得を目的として、奈良県道路メンテナンス会議事務局（国・県）の主催により、橋梁点検等講習会を実施。



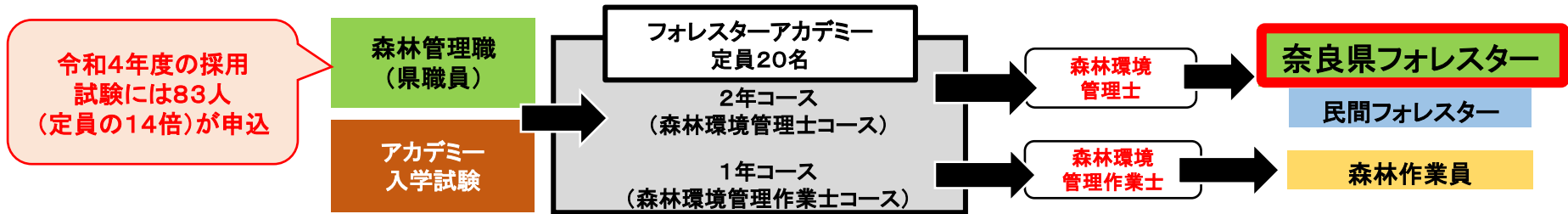
都道府県による市町村の補完・支援の事例（奈良県と各市町村）

第33次地方制度調査会
第14回専門小委員会資料
を一部加工

- 奈良県では、従来から都道府県による市町村の補完・支援などを進めてきた（「奈良モデル」の取組）。
- 森林・林業を担う専門人材を育成するため、令和3年度に奈良県フォレスターアカデミーを開校。卒業した県職員（「奈良県フォレスター」）が、市町村の森林環境管理業務及び県が市町村から受託した事務を担っている。

人材の育成

- 奈良県フォレスターアカデミーを令和3年度に開校し、奈良県の森林・林業を担う人材を養成
- アカデミーを卒業した県職員を「**奈良県フォレスター**」に任命し、同一の市町村に長期間派遣のうえ森林環境管理の業務に従事させる。



市町村との連携

- 伐採届に関する市町村の事務を県が受託し、奈良県フォレスターがその事務に従事

